

会報

NO 178 2023年2月号

(令和5年仏暦2566年)

チェンライ日本人会発行

事務局 iacr15ani@gmail.com

 **JaCR** เชียงใหม่ 清萊 **チェンライ**
日本人会
Japanese Association of Chiang Rai

SINCE 2004~



ChiangRai Flower Festival にて

臨時総会を開催します

臨時総会を開催致します

日時 2月18日(土) 12時～14時

場所 日本レストラン 「ガウマシム」

議題 1, 会則の変更 2, 新役員の選出 3, その他

議題1：現行会則**第八条** (一) 役員の定員を3名とし任期は2年とする⇒(1) **役員の定員を6名とし任期は2年とするに改正する。**

(役員の構成) **第九条** (一) 本会に於いて前記の事業を遂行する為、役員の互選により、会長一名、副会長一名、事務局(会計、書記を兼任)一名を置く⇒**本会に於いて前記の事業を遂行する為、役員の互選により、会長一名、副会長、会計担当などを置く。**

議題2：会則により、現役員と推薦委員は協議し次年度の役員を6名選出し提案致します。後日、新役員による役員会を開き、会長などを互選する。

提案理由：多様性のある組織の中で会員の安心安全を守り、健康で平和な生活が出来るように、また会の活動が充分に出来るように役員を増員します。

なお、総会時の質問事項については事前に役員まで申し出てください。

臨時総会終了後、同じ会場で懇親会を行います。

昼食を注文される方は事前に**2月15日**までに申し込んでいただきます。(準備の都合上) 申込先は、各役員まで

小杉会員 **085-8064571**・菅原
会員 **062-7396906**・瀬戸会員
まで **089-9114520**

余興でカラオケ大会を行います。カラオケ自慢の方、ご参加下さい！



TOPICS トピックス TOPICS トピックス TOPICS トピックス TOPICS
トピックス TOPICS トピックス TOPICS トピックス TOPICS トピックス

1月14日開催の新年会

よろしくお願ひしまーす

抽選会

特等賞ゲット

新しく入会された八巻さんご一家です

よろしくお願ひしまーす

いっぽんじめ
ですよ！



ゴルフ愛好会



「第69回ゴルフコンペ」
2023年最初の優勝者は
野木純生さんです。次回は
2月19日(日) メーコック
ゴルフコース、スタート8時
30分です。ご参加下さい。

ニュース NEWS ニュース NEWS ニュース NEWS ニュース NEWS ニュース NEWS ニュース NEWS ニュース NEWS
NEWS ニュース NEWS ニュース NEWS ニュース NEWS ニュース NEWS ニュース NEWS

チェンライ領事出張サービスのお知らせ

日時 2023年2月18日(土) 08:30~12:00
13:30~15:30

実施場所 WIANG INN HOTEL CHIANGRAI Chiang-Saen Room

※詳細については、チェンマイ領事館からの手紙をご覧ください

2023年1月9日からタイの道路交通法にポイント制度が採用。

タイ警察によれば、交通違反を点数で計算する制度が今年1月9日に導入された。具体的には、運転免許保有者には12点が与えられ、交通違反を犯したり罰金を払わなかったりすると点数が引かれ、点数がゼロになると90日間の免許停止となる。また、3年間に4回免許停止となると、免許取り消しとなるとのことだ。例えば飲酒運転で減点4点となります。その他に1年以下の懲役または5,000~20,000Bの罰金。



みんなの広場

各種愛好会の活動状況や開催情報、募集など。

その他、買います・売ります・譲ります・お店紹介などなど掲載しています。

掲載希望者は E-mail jacr15ani@gmail.com までお寄せください。

日本食レストラン急増!!!

ジェトロなどによると、2019年に3637店だった日本料理店数が、2021年には4370店まで伸び、特に地方での広がりがすそ野を広げている。
バンコクよりも地方の方が店舗数は上回っている。そして日本人が経営する店はバンコクに集中していて、地方の日本料理店はタイ人による店が増えている。



映画好き、クラシック音楽好きの方を募集中

湯口昭治 yuguchi@lion.ocn.ne.jp (M) 083-534-2617

映画、TVドラマ、クラシック音楽、フォークソングなど



昨年8月末に、チェンライに戻りました、湯口です。

チェンライは、リタイアした人には住みやすい場所ですが、毎日、生きがいを持って住むためには、何か趣味が必要です。でも、チェンライで出来る趣味は限られます。

そこで、私の趣味、映画(主にアメリカ製作のアクション映画、SF映画)、TVドラマ(主にアメリカ制作のCSI:科学捜査班、NCIS:ネイビー犯罪捜査班、そしてFBI:特別捜査班)、クラシック音楽(特に交響曲、協奏曲、管弦楽曲、ベートーヴェン、マーラー等)フォークソング(特に中島みゆき、吉田拓郎、井上陽水等)を共有できる人を探しています。

タイ(チェンライ)は、映画好き、クラシック音楽好きにとって、良い環境とは言えません。新しい、映画、音楽に接する機会が多く有りません。最初、2年程度住んで、痛感しましたので、今回4年弱日本に戻った時に、一生懸命、DVD 等のソースを集めました。

先日の餅つき大会の時に、西村京太郎のトラベルミステリーの単行本を、バザールで販売しました。ある方から、タイでは、入手するのが難しく、同じ本を何度も読んでいたと言われました。

そこで、この映画が見たい、このドラマが見たいと思われている方が居られましたら、是非連絡をお願いします。

そして、現在、チェンライでは、日本の動画配信サイト(Hulu, Netflix,プライム)を見ています。ただ、日本の動画配信を見るためにも、設定が必要で、簡単には、見ることは、出来ません。

もし、興味のある方が居られましたら、ご連絡を下さい。やはり、趣味を共有できる人と、好きな映画の話、音楽の話をしたいのですが、同じ趣味、興味をお持ちの方が、いらっしゃいましたら、是非ご連絡を下さい。

また、見たい映画、音楽が有りましたら、ご連絡を下さい。

現在保管しています、映画、音楽のリストが有りますので、メール等でお送りできます。

ご連絡をお待ちしています。 湯口昭治 yuguchi@lion.ocn.ne.jp (M)083-534-2617

今年最初の「会員紹介」は巽谷眞治(たつみやしんじ)さんです



住まいは、ドイルアン・メーリアップ村ソイ5と言うチェンライから50km程の所でゴルフ場のウォーターフォードから18kmチェンコーンに向かった所です。

昭和 25 年(1950 年)1月 23 日に東京都北区上十条に生まれる。

大学を卒業後、親の漆器卸会社へ就職し、1978年(28歳)から大阪高槻で約7年間勤務し、その後東京へ転勤、タイの商品開発などの仕事で度々タイへ行っていました。

そして、36歳の時にチェンマイでチーク、花梨等の木から加工の可能なゴム材を使った木工工場を開いたりしていました。

1996年ころタイ全土で木材の伐採禁止に成り、継続が出来なくなり倒産し、一切の資金も無くなり路頭に迷う事に成りました。

日本に居ても仕方なく、タイ・チェンマイに戻りこれからの事をぼーっと考えながら、ウロウロしていた所、行きつけの食堂の今の奥さんが可哀そうに思っで呉れて“チェンライの田舎に祭りで行くけど行かないか”と誘われ、その時来たのが今のドイルアン・メーリアップ村でした。村では食べれるだけなのでバンコクへ出てタイ人経営の会社で GM として働き約5年後独立して日系工場相手に工場用資材を販売してきました(主に棚関係、プラスチックパレット、箱、パッケージ等)。

その後、コーヒー豆の事業もする事に成りました。コーヒー事業は一時、エカマイのゲータウエーの販売店、富士スーパーへ卸しましたが、今はタイ国内は今までのお客さんと知合いに出す程度で日本で息子がコーヒー豆の販売をする事になり以前から取引のあるタイ料理全国チェーン店のマンゴーツリーへ卸しています。

丁度、70歳(2020年)にコロナ禍でも有りチェンライへ移り住む様に成り、バンコクの事業は細々とスタッフのお陰で継続されています。

タイに住む様に成ったのはチェンマイの7年と約30年前にチェンライへ来て1年弱田舎で住み、その後バンコク近郊に住んでチェンライへは年に3~4回毎回車で帰る日々でした。やっと2年前から継続して住む事に成り在留届を出し、アンパーヘタビアンバーンとIDカードをドイルアンのアンパーで初めての取得者に成りました。

小生は30年前に一年弱の間、村で生活し村の人達と一緒に村のお寺の仕事をしたり、その頃のお寺には屋根が無く仏像は雨ざらしでした。僅かでも寄進したりして村民として受け入れて頂きました。

現在は、タイ人妻と娘と犬10匹、猫3匹と暮らしています。

小生の死後は村の墓に入れて頂く事になっています。日本に居る息子は日本へ墓を作ると言っていますが今の時代は日本で墓を作らない時代になりどうするか考えています。よろしく願いいたします。 巽谷眞治

日々の暮しに感謝

<https://hidenaka24.hatenablog.com/ブログ「チェンライの市場から」中西英樹会員>

■穏やかな老後の始まりか

ここ数カ月、日々のスケジュールはほとんど変わらない。朝は明るくなると起きる。暗いうちから目が覚めていることが多いが、「日の出とともに起きる」は何十代にもわたる先祖のDNAのせいだろうか。朝食はドリップで淹れた珈琲に牛乳と砂糖を少し、サラダ、お茶漬けあるいはタイの胡麻餅にチーズの朝食を摂り、7時半にはコートへ向かう。1時間から1時間半、時には2時間、テニスのダブルスを楽しむ。帰ってシャワー、そしてパソコンへ向かう。午後も机の前に座っていることが多いが、買い物、公共料金の支払い、友人と歓談なども。

夕食は早く帰宅したいメバーンのニイさんに合わせて4時半くらいから始まる。夕食を終えたら2階の自室に戻ってPC画面とにらめっこ。ラオカオを飲みすぎると8時過ぎには寝てしまう。二日酔いになるほど飲むことはないが酒量も食べる量も昔に比べると少なくなった。暴飲暴食の若き日々が懐かしい。

変化に乏しい日常に飽きると旅に出たものだ。でもチェンライに戻って1年も経つが短期の国内旅行だけで国外には出していない。もう欧州は暗い冬に入るし、中南米は遠すぎる。分断に揺れる米国は差別があって危険という気がする。台湾とかスリランカ、ベトナム辺りならと思うが、いや、台湾有事が、などと考えると億劫になる。旅に出る、も結構エネルギーが必要ということか。

友人が円安で年金の手取りは減るし、車の月賦もあって旅行にも行けない、と嘆いていたが、彼にはタイ人の奥さんがいて、それなりに楽しそう。離婚した男性の平均余命は、添い遂げている男性に比べて10年ほど短い。これは国立社会保障・人口問題研究所が約40年間かけて調査した結果に基づくデータだ。パソコンに向かってこんなデータを閲覧しているようではそれこそ「老人性うつ」に陥ってしまう。

■十分長生きできた

でも独身でありながら古来稀なりの年をはるかに越え、高期高齢者の年齢まで生き永らえている。ボールへの反応が鈍くなったもののペアにそれほど迷惑かけずにテニスができ、酒も食事量も量が減ったと言いながら好きなだけ楽しめる。不平不満どころか「有難い」の一言に尽きる。昭和、平成、令和の御代を生き抜き、正に「御民（みたま）われ 生ける 験（しるし）あり 天地の榮ゆる時に 遭へらく思へば」の通りである。兄と一緒に食事をとるのであるが、お互い、この年まで生きられるなんてと感謝し、歯が悪くなった、ラケットにボールが当たらない、は年のせいなのだから仕方ない、と慰めあっている。世界の飢餓人口は8億人を越えていてここ3年増え続けているそうだ。人間の9人に1人は今日一日食べるものがなくて、水を飲んで寝る、盗む、物乞いになるの3択しかない生活を送っている。心痛むことであるが、独裁者とか特権階級が国民を飢餓の状況に追い込んで恬として恥じないという国がいくつもある。この年になると個人の良心とか同情心でものごとが解決するものではないことも分かってきた。今から国連職員になって活躍することはできないし、国連という組織自体もかなり怪しいものだ。常任理事国が侵略戦争を始める組織で、更に実効ある制裁もできない。

■四方に向かって感謝

世の中には自分にはどうにもならないことが多すぎる。世の行く末を心配することは、もう若い人に任せて、出来たら人に迷惑をかけずに残り少ない余命を静かに終えたいと願っている。もう生活のために働く必要はない。まだ楽しく元気で働いている同輩は少なくないし、羨ましいと思う。自分も楽しいと思って30年以上、組織の中で過ごしてきた。でも60になって仕事を一切やめたら、それまで毎日飲んできた胃潰瘍の薬が要らなくなった。あれこれ工夫し、人と協働して面白く暮らしてきたはずなのに、体の方は「もう勘弁してくださいよ」とSOS信号を出していたのだろう。

生計をたてる苦労は何もしていないのに、雨風を凌ぐ家に住み、山海の珍味でなくとも口に糊して安楽に暮らしている。パソコンのステレオでバッハやヘンデルの曲を聞くと、こんな贅沢は当時の王侯貴族でもできなかったのでは、と少し幸せな気分になれる。

早く死んだ父親は蓄音機でモノラルのクラシックを聴いていた。でも自分のような満ち足りた気持ちを味わったことはなかったのでは、と可哀そうに思うことがある。祖父母や曾祖父母、更に貧乏士族として何百年にもわたってサラリーマン生活を送った祖先に対して申し訳なく、一人でも欠けたら今の自分が存在していないことを思い、祖先と祖国日本に感謝せざるを得ないのである。
2022年12月2日のブログから

ゴミ拾い

サッカーワールドカップ・カタール大会で、試合後にごみ拾いをする日本人サポーターの姿が話題になりました。

なぜ、勝っても負けても清掃活動をするのか外国人には理解し難い行為のようですが、日本人には当たり前のことですが、いざやろうとするとなかなか勇気の要ることです。

家の近くに村の集会所があります。毎月1回から2回、村の連絡会議が開催されます。その他に、お祭りなどの行事があったりすると、その度に集会所の近くにはビニール袋や飲み物の入れ物などゴミが散らかっています。

おそらく、村で雇った清掃員が居て後で片付けるのだろうが、近所の人や関係者は散らかっているのを見ても一切感知しません。タイでは、一般家庭でもお店や公共施設、道路脇などにもゴミが散らかっているのをよく見かけます。そのうちに誰か片付けるだろうから放って置けば良いとの考えなのです。近所のタイ人が日本へ旅行して、何が良かったかと聞いたら、「街が綺麗でゴミが1個も散らかって居なかった」と言っていました。

バンコクでは、屋台村を撤去して街を整備して綺麗にする計画が有るようですが、まずは身近な所から綺麗にする習慣をつけることが重要かと考えます。
こすぎ